



平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年2月12日

上場会社名 株式会社 ユー・エス・エス 上場取引所 東・名
 コード番号 4732 URL http://www.ussnet.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 安藤 之弘
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役統括本部長 (氏名) 山中 雅文 TEL 052-689-1129
 四半期報告書提出予定日 平成25年2月13日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績（平成24年4月1日～平成24年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	45,938	△1.7	20,973	5.9	21,410	6.2	13,128	9.6
24年3月期第3四半期	46,728	3.5	19,813	11.9	20,163	12.6	11,977	12.9

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 13,092百万円 (13.3%) 24年3月期第3四半期 11,558百万円 (8.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	493.25	492.28
24年3月期第3四半期	424.57	423.86

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第3四半期	131,842	114,279	86.3
24年3月期	154,639	121,097	78.0

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 113,763百万円 24年3月期 120,582百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	110.00	—	134.00	244.00
25年3月期	—	161.50	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	140.00	301.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 平成25年3月期第2四半期末配当金の内訳 普通配当 131円50銭 記念配当 30円00銭

3. 平成25年3月期の連結業績予想（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	64,200	0.3	29,000	3.7	29,250	2.3	17,950	5.2	678.52

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 詳細は、添付資料P. 4「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の4および5に該当するものであります。詳細は、添付資料P.4「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年3月期3Q	31,325,000株	24年3月期	31,325,000株
② 期末自己株式数	25年3月期3Q	5,510,331株	24年3月期	4,128,021株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年3月期3Q	26,616,069株	24年3月期3Q	28,209,792株

(注) 平成24年3月期の期末自己株式数には119,980株、平成25年3月期第3四半期の期末自己株式数には100,510株、USS従業員持株会専用信託が所有する株式が含まれております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
(6) セグメント情報等	10
4. 補足情報	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間の国内自動車流通市場は、平成24年9月まで実施された政府の経済対策であるエコカー補助金制度の効果などにより、新車登録台数は3,682千台（前年同期比20.1%増）と好調に推移しました。しかしながら、エコカー補助金終了後となる平成24年10月から12月までの新車登録台数は、前年同期比3.0%減となりました。中古車登録台数は、新車登録台数増加の影響により下取り車両が増加したことや、引き続き海外への中古車輸出需要が堅調であったことなどから、4,936千台（前年同期比7.0%増）と堅調に推移しました。この結果、オートオークション市場全体の出品台数は5,255千台（前年同期比6.8%増）、成約台数3,008千台（前年同期比4.3%増）、成約率は57.2%（前年同期実績58.6%）となりました。（（社）日本自動車販売協会連合会、（社）全国軽自動車協会連合会、月刊ユーストカー調べ）

このような経営環境の中、U S Sグループの当第3四半期連結累計期間における経営成績は、売上高は45,938百万円（前年同期比1.7%減）と減少したものの、営業利益は20,973百万円（前年同期比5.9%増）、経常利益は21,410百万円（前年同期比6.2%増）、四半期純利益は13,128百万円（前年同期比9.6%増）となり、営業利益、経常利益、四半期純利益ともに過去最高益を更新しました。

オートオークション

平成24年10月以降は、新車登録台数の減少によりオートオークションの出品台数も伸び悩みましたが、9月まで実施されたエコカー補助金制度の効果による下取り車両の増加などもあり、出品台数は1,628千台（前年同期比1.1%増）、成約台数は1,010千台（前年同期比1.4%減）、成約率は62.1%（前年同期実績63.6%）となりました。

オートオークションにおける手数料収入は、外部落札比率の上昇や外部落札システムの落札手数料を改定したことなどにより増加したのに対し、営業費用は減価償却費などが減少しました。

この結果、オートオークション事業は、外部顧客に対する売上高33,506百万円（前年同期比0.6%増）、営業利益20,482百万円（前年同期比6.0%増）となりました。

中古自動車等買取販売

中古自動車買取専門店「ラビット」は、買取台数は減少したものの、販売経費を見直したことなどから減収増益となりました。

事故現状車買取販売事業は、買取台数が大幅に減少したことなどから減収減益となりました。

この結果、中古自動車等買取販売事業は、外部顧客に対する売上高8,257百万円（前年同期比10.9%減）、営業利益347百万円（前年同期比22.2%減）となりました。

その他

廃自動車等のリサイクル事業は、廃自動車の取扱台数は増加したものの、10月まで金属相場が下落傾向であったことに加え、営業費用も増加したことなどから営業損失となりました。

廃ゴムのリサイクル事業は、カラー着色の弾性舗装用ゴム製品や踏切用ゴムマット等の取扱量が増加しましたが、営業費用の増加などにより増収減益となりました。

中古自動車の輸出手続代行サービス事業は、順調に取扱台数が増加し営業利益を確保しました。

この結果、その他の事業は、外部顧客に対する売上高4,174百万円（前年同期比0.2%増）、営業利益49百万円（前年同期実績 営業損失65百万円）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

連結財政状態については、当第3四半期連結会計期間末の資産合計は131,842百万円となり、前連結会計年度末と比較して22,797百万円減少しました。これは、現金及び預金が11,333百万円減少したことや、オークション貸勘定が9,264百万円減少したことなどによるものであります。

負債合計は17,562百万円となり、前連結会計年度末と比較して15,978百万円減少しました。これは、オークション借勘定が8,541百万円減少したことや未払法人税等が4,161百万円減少したことなどによるものであります。

純資産合計は114,279百万円となり、前連結会計年度末と比較して6,818百万円減少しました。これは、利益剰余金が5,315百万円増加したのに対し、自己株式の取得などにより自己株式が12,095百万円増加したことなどによるものであります。

<キャッシュ・フローの状況>

当第3四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末と比較して5,533百万円減少し、23,007百万円となりました。なお、当第3四半期連結累計期間における連結キャッシュ・フローの状況は、次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は9,998百万円となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益21,354百万円（前年同期比6.0%増）、法人税等の支払額12,246百万円（前年同期比21.4%増）によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果得られた資金は4,781百万円となりました。これは主に、定期預金の純増減による収入5,800百万円（前年同期実績、純増減による支出3,100百万円）、有形固定資産の取得による支出988百万円（前年同期比102.7%増）によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果支出した資金は20,313百万円となりました。これは主に、自己株式の取得による支出12,309百万円（前年同期比35.7%増）、配当金の支払額7,811百万円（前年同期比30.2%増）によるものであります。

（3）連結業績予想に関する定性的情報

当連結会計年度の業績予想につきましては、想定する範囲内で推移しており、前回公表（平成24年11月6日発表）の連結業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
(税金費用の計算)

税金費用については、原則として、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
(減価償却方法の変更)

当社および連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。これによる損益への影響は軽微であります。

(耐用年数の変更)

当社が保有する名古屋会場の「建物及び構築物」および「工具、器具及び備品」は、当第3四半期連結会計期間において建て替えを決定しており、これに伴い除却見込みとなる資産について耐用年数を建て替え予定月までの期間に見直し、将来にわたり変更しております。

これにより、従来の方と比べて、当第3四半期連結累計期間の減価償却費が39百万円増加し、営業利益、経常利益および税金等調整前四半期純利益が同額減少しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	36,840	25,507
オークション貸勘定	11,635	2,371
受取手形及び売掛金	2,734	2,089
有価証券	100	507
たな卸資産	962	875
その他	1,522	1,532
貸倒引当金	△63	△47
流動資産合計	53,731	32,836
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	29,762	28,143
土地	58,873	58,190
建設仮勘定	9	800
その他（純額）	2,328	1,760
有形固定資産合計	90,974	88,894
無形固定資産		
のれん	17	20
その他	847	807
無形固定資産合計	865	828
投資その他の資産		
投資その他の資産	9,156	9,374
貸倒引当金	△87	△90
投資その他の資産合計	9,068	9,283
固定資産合計	100,908	99,006
資産合計	154,639	131,842
負債の部		
流動負債		
オークション借勘定	13,154	4,613
支払手形及び買掛金	560	416
短期借入金	93	93
未払法人税等	5,900	1,739
引当金	534	272
その他	6,083	3,580
流動負債合計	26,326	10,716
固定負債		
長期借入金	1,174	1,004
引当金	155	72
資産除去債務	683	685
その他	5,202	5,084
固定負債合計	7,215	6,846
負債合計	33,541	17,562

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	18,881	18,881
資本剰余金	18,972	18,962
利益剰余金	115,066	120,381
自己株式	△27,110	△39,206
株主資本合計	125,809	119,018
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	93	64
土地再評価差額金	△5,320	△5,319
その他の包括利益累計額合計	△5,227	△5,254
新株予約権	230	237
少数株主持分	284	277
純資産合計	121,097	114,279
負債純資産合計	154,639	131,842

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	46,728	45,938
売上原価	19,453	18,269
売上総利益	27,275	27,669
販売費及び一般管理費	7,461	6,696
営業利益	19,813	20,973
営業外収益		
受取利息	27	7
不動産賃貸料	145	314
複合金融商品評価益	—	28
雑収入	317	157
営業外収益合計	490	508
営業外費用		
支払利息	3	4
不動産賃貸原価	20	49
複合金融商品評価損	103	—
雑損失	13	16
営業外費用合計	140	71
経常利益	20,163	21,410
特別利益		
固定資産売却益	34	15
その他	—	0
特別利益合計	34	16
特別損失		
固定資産売却損	24	0
固定資産除却損	21	57
その他	1	14
特別損失合計	47	72
税金等調整前四半期純利益	20,150	21,354
法人税等	8,214	8,232
少数株主損益調整前四半期純利益	11,936	13,121
少数株主損失(△)	△40	△7
四半期純利益	11,977	13,128

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	11,936	13,121
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△18	△29
土地再評価差額金	△359	—
その他の包括利益合計	△378	△29
四半期包括利益	11,558	13,092
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	11,598	13,099
少数株主に係る四半期包括利益	△40	△7

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	20,150	21,354
減価償却費及びその他の償却費 のれん償却額	3,014	2,607
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	68	△3
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△25	△13
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△216	△261
受取利息及び受取配当金	19	△83
支払利息	△36	△18
複合金融商品評価損益 (△は益)	3	4
有形固定資産除売却損益 (△は益)	103	△28
オークション勘定の増減額	10	42
売上債権の増減額 (△は増加)	321	722
仕入債務の増減額 (△は減少)	583	645
預り金の増減額 (△は減少)	△189	△143
その他	△1,160	△1,621
小計	△339	△974
利息及び配当金の受取額	22,307	22,229
利息の支払額	35	19
法人税等の支払額	△4	△4
営業活動によるキャッシュ・フロー	△10,085	△12,246
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額 (△は増加)	12,254	9,998
有形固定資産の取得による支出	△3,100	5,800
有形固定資産の売却による収入	△487	△988
無形固定資産の取得による支出	104	41
投資有価証券の取得による支出	△106	△133
投資有価証券の償還による収入	△210	—
長期前払費用の取得による支出	—	100
関係会社株式の取得による支出	△7	△10
その他	△268	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	40	△27
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△4,035	4,781
長期借入金の返済による支出	150	—
預り保証金の預りによる収入	△149	△169
預り保証金の返還による支出	177	159
自己株式の取得による支出	△69	△55
自己株式の売却による収入	△9,070	△12,309
配当金の支払額	—	161
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△6,001	△7,811
その他	△212	△287
財務活動によるキャッシュ・フロー	—	0
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△15,176	△20,313
現金及び現金同等物の期首残高	△6,958	△5,533
現金及び現金同等物の四半期末残高	29,280	28,540
現金及び現金同等物の四半期末残高	22,322	23,007

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

自己株式の取得

当社は、平成24年8月27日開催の取締役会において自己株式を取得することを決議し、普通株式1,410,000株を取得いたしました。

この自己株式の取得等により、当第3四半期連結累計期間において自己株式が12,095百万円増加しております。

(6) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間（自平成23年4月1日至平成23年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	オートオー クシヨン	中古自動 車等買取 販売	計				
売上高							
外部顧客への売 上高	33,296	9,264	42,560	4,167	46,728	—	46,728
セグメント間の 内部売上高また は振替高	398	0	399	2	401	△401	—
計	33,695	9,264	42,960	4,170	47,130	△401	46,728
セグメント利益ま たは損失 (△)	19,320	446	19,767	△65	19,701	112	19,813

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、株式会社アビズの廃自動車等のリサイクル事業と株式会社U S S 東洋の廃ゴムのリサイクル事業および株式会社U S S ロジスティクス・インターナショナル・サービスの中古自動車の輸出手続代行サービス事業であります。

2. セグメント利益または損失の調整額112百万円には、セグメント間取引消去110百万円、のれんの償却額1百万円が含まれております。

3. セグメント利益または損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	オートオー クシヨ	中古自動 車等買取 販売	計				
売上高							
外部顧客への売上高	33,506	8,257	41,763	4,174	45,938	—	45,938
セグメント間の内部売上高または振替高	345	0	345	2	348	△348	—
計	33,851	8,257	42,109	4,177	46,286	△348	45,938
セグメント利益	20,482	347	20,829	49	20,878	94	20,973

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、株式会社アビヅの廃自動車等のリサイクル事業と株式会社カークエストの廃ゴムのリサイクル事業および株式会社USSロジスティクス・インターナショナル・サービスの中古自動車の輸出手続代行サービス事業であります。

なお、株式会社USS東洋は平成24年2月1日付で株式会社カークエストを吸収合併し、同日付で株式会社カークエストに商号変更いたしました。

2. セグメント利益の調整額94百万円は、セグメント間取引消去によるものであります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 業績

(連結業績)

(単位：億円)

	24年3月期	25年3月期		
	第3四半期	第3四半期	増減率(%)	通期予想
売上高	467	459	△1.7	642
営業利益	198	209	5.9	290
経常利益	201	214	6.2	292
四半期(当期)純利益	119	131	9.6	179

(2) セグメント別営業収益

(連結業績)

(単位：億円)

	24年3月期	25年3月期		
	第3四半期	第3四半期	増減率(%)	通期予想
《オートオークション》				
出品手数料	87	87	0.5	121
成約手数料	79	78	△1.9	108
落札手数料	108	112	3.5	156
商品売上高	6	4	△24.4	5
その他の営業収入	50	51	1.8	70
オートオークション計	332	335	0.6	461
《中古自動車等買取販売》				
中古自動車買取販売	62	57	△7.4	83
事故現状車買取販売	30	24	△18.1	36
中古自動車等買取販売計	92	82	△10.9	120
《その他》				
廃自動車等のリサイクル	32	29	△9.6	42
廃ゴムのリサイクル	8	9	6.8	13
中古自動車の輸出手続 代行サービス	0	3	387.0	4
その他計	41	41	0.2	60
合計	467	459	△1.7	642

(3) 設備投資額、減価償却費

(連結業績)

(単位：億円)

	24年3月期	25年3月期		
	第3四半期	第3四半期	増減率(%)	通期予想
設備投資額				
支出ベース	5	11	89.0	40
完工ベース	5	5	△3.1	10
減価償却費	29	24	△14.0	35